

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.21

令和6年11月7日(木)

文責：校長 園田栄作

「読書週間 10月27日(日)～11月9日(土)」 ～ 読書に親しむいい季節です ～

読書週間は、終戦まもない1947(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が残っている中、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもとに始まったそうです。電子機器が発展する中でも、紙媒体の本を手にとって読書に親しむ意義は大きいと考えます。

今年の標語は「この一行に逢いにきた」です。心にときめくどんな一行に出会えるか、本を手に取り読書に親しむ時間をつくってみて

はいかがでしょうか。私は今、「ガンジー」の伝記を読んでいます。世界では、至る所で戦争が起きていますが、それを沈める大きなヒントが隠されていると感じました。

読書は、本校のテーマの「自分磨き」にも、大いに効果があると思います。



笑顔いっぱいの「第24年度島グラウンドゴルフ大会」



11月4日(月)に、丸島公園で第24年度島グラウンドゴルフ大会が行われ、地域の方と一緒に中学生や職員も多数参加させていただきました。ALTの〇〇〇〇先生も参加してくださいました。素晴らしい天気に恵まれ、グラウンドゴルフを楽しむとともに、地域の方とも交流ができ、笑顔あふれる大会となりました。「スポーツの秋」を満喫でき、体も心も健康になりました。

第12回平戸市イングリッシュ・スピーチコンテスト

10月26日(土)に平戸市イングリッシュ・スピーチコンテストが行われ、中学1年の〇〇〇〇さんが出場しました。このコンテストでは、「私のふるさと」をテーマに、日頃の学習を通して学んだことや感じたことをもとに伝えたいことを発表します。〇〇〇さんは、度島に豊かな自然があることや普通に学校に通えていることに触れ、当たり前にあること、できていることの有難さについて英語で堂々と発表しました。英語での表現に自信を深めました。



■裏面に発表原稿を載せています。

発表のタイトル: Happiness that you don't notice

度島中学校 1年 〇〇 〇〇〇

“Takushima island is a nice island.” This was heard in April. When I looked back , the new teacher said. I was surprised because I didn't think so. For example, in my town there are only a few shops. On the first day of school, the new teacher said “Takushima is so rich in nature.”

Since then, I started to look at nature. There was a lot of nature: flowers, grass, trees, the sky, stars, and the sea. There was a lot of nature around us, even if we didn't realize it. After realizing this, I feel like my world has expanded. This may also be connected to daily life. When we think about it, we are able to go to school and meet our friends as normal. However, there are some children around the world who cannot go to school due to the environment. There is so much happiness all around us, even if we don't realize it. Takushima is overflowing with happiness and smiles. Today again, I can hear the smiling faces and cheerful voices of children coming from the school. Although the population is decreasing year by year, they continue to live in a warm environment.

I realized that there is a lot of happiness in this world that I am unaware of. I want to live my life with gratitude for each day without taking things for granted. From now on, I want to protect my hometown so that we can protect this common sense.

Thank you for listening!!

【概要/訳】

4月に「度島はいい島ですね」という声が聞こえてきた。振り返った時、新しく来た先生が言っていた。私はそうは思っていなかったなので、とてもびっくりした。例えば、お店が少ないところ。1学期の初めの日、新しい先生は「度島には豊かな自然がある」と言っていた。

それ以来、私はよく自然を見るようになった。花に草に木に空、星、海、たくさんの自然があった。そう、気づいてないだけでたくさんの自然が身の回りにはあった。これに気づいてからは私の世界が広がったように感じる。これは、日常生活にもつながっているのではないだろうか。よく考えると、私達は当たり前のように学校に行き、友達とも会うことができている。でも、世界には環境のせいで学校にいけない子どももいる。気づいてないだけで、私たちのまわりには幸せがたくさん転がっている。度島には、その幸せと笑顔があふれかえっている。今日も学校からは、満開の笑顔と元気な子供の声が聞こえてくる。年々人口は減っているが、変わらず温かい環境で過ごさせている。

この世界には気づかない幸せがたくさん広がっているんだと思った。当たり前を普通だとは思わずに、日々感謝して生きていきたい。これからも、この当たり前を守っていけるように私のふるさとを守っていきたい。